

認定こども園 施設概要（教育及び保育・子育て支援事業・管理運営等）

認定こども園の名称	三谷こども園		認定こども園の長の氏名	森田 和子		
認定こども園の所在地	〒649-7133 和歌山県伊都郡かつらぎ町三谷1650 (電話) 0736-23-3730 (ファックス) 0736-23-3730 (メールアドレス) mitanikodomoen@helen.ocn.ne.jp					
認定こども園の類型	保育所型		設置者	かつらぎ町		
運営開始年月日	平成 28 年 4 月 1 日					
施設において保育する子どもの人数		保育認定（標準時間・短時間） 2号認定・3号認定		教育標準時間認定 1号認定		
	0歳	5名				
	1歳	23名				
	2歳	34名				
	3歳	32名		0名		
	4歳	39名		3名		
	5歳	44名		0名		
	合計	177名		3名		
保育時間等	区 分	保育認定（標準時間・短時間）		教育標準時間認定		
		通常 の 保育 時間	平日	8:30~16:30	平日	8:30~14:00
			土曜日	8:30~13:00	土曜日	休み
	日・祝日		休み	日・祝日	休み	
	延長（預かり） 保育の実施時間	7:00~20:00		14:01~16:30		
	休 園 日	年末年始		土日祝 夏季休暇：7/21~8/31 冬季休暇： 12/23~1/6 春季休暇：3/25~4/7		
気象警報発令時の対応	発令時自宅待機。解除になれば保護者の判断で登園可能。 保育中に発令した場合一斉メールで知らせ、ひどくなるまでに迎えのお願いをする。 前日から大きな被害が予想される場合は警報が発令されなくても翌日の臨時休園措置をとる。		発令時自宅待機。解除になれば保護者の判断で登園可能。 保育中に発令した場合一斉メールで知らせ、ひどくなるまでに迎えのお願いをする。 前日から大きな被害が予想される場合は警報が発令されなくても翌日の臨時休園措置をとる。			

教育・保育の目標	<p>○こども一人一人が年齢、生活経験により、自立した人間として社会と関わり合う力、未来を生きる力の基礎を育む。</p> <p>○健康で安全な生活を作り出す力を養い、柔軟な頭脳と丈夫な身体を育む。</p> <p>○身近な動植物などに興味や関心を持ち、様々な感動体験や生活経験の機会を多く取り入れ、命を大切にする心を育てる。</p> <p>○経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする気持ちや態度を育て、言葉に対する感覚や表現する力を養う。</p>	
日々の教育及び保育の指導における留意点	一人一人の成長・発達・家庭環境を含めた育ちをきちんととらえ、環境を整え個々に必要な言葉かけや手助けをしていけるように見守る。また、複数担任により共通理解のもと子どもの保育にあたる様、常に連携を取る。	
小学校との連携に関する取組内容	<p>卒園児の学校生活を知らせてくれる連絡会</p> <p>運動会行事の参加</p> <p>学校体験に参加する</p> <p>交流会に参加する</p> <p>職員同士の引き継ぎ会</p>	
1日の活動	保育認定（標準時間・短時間） 2号認定・3号認定	教育標準時間認定 1号認定
	<p>7:00 開園 順次登園 (7:00~8:30 申込児のみ)</p> <p>8:30 挨拶・視診（健康観察） 持ち物整理 自由あそび 朝の会</p> <p>9:00 ・出席調べ ・健康検査 指導計画による教育</p> <p>11:00 保育給食準備</p> <p>13:00 給食 午睡</p> <p>14:00 自由あそびおやつ</p> <p>15:00 降園準備 順次降園</p> <p>16:00</p> <p>16:30~20:00 延長保育（申し込み児のみ）</p>	<p>登園</p> <p>挨拶・視診（健康観察） 持ち物整理自由あそび 朝の会・出席調べ・健康検査 運動遊び・リズム運動指導計画 による教育・保育 給食準備・給食</p> <p>降園準備</p> <p>終わりの会（合同保育）</p> <p>降園*申し込み児のみ預かり保育 (14:00~16:30)</p>
子育て支援事業	事業内容及び対象者	
	未就園児対象：園庭開放 子育て相談：希望家庭	実施頻度 月に1回 随時

推進委員の配置

	担当者名	主な推進方針
--	------	--------

<p>人権教育推進員</p>	<p>河里麻里</p>	<p>様々な経験を通し、豊かな心を友だちとの関わりの中で自分を大切に、他者を思いやる心を育てる保育を推進している。</p>
<p>安全管理対策推進員</p>	<p>中野咲江</p>	<p>施設の設備や環境を定期的に調べ、地域と連携を取り安全に過ごせるよう話し合いを持つ計画をしている。</p>
<p>非常災害対策推進員</p>	<p>森田和子</p>	<p>様々な災害を想定し、避難訓練を通してあわてず、命を守ることの大切さを知らせることを狙いに計画している。</p>